

新潟市潟環境研究所 平成29年度第2回定例会議（概要）

日時：平成29年7月27日（木）午後2時30分～午後5時

場所：新潟市役所対策室1

■会議概要

1 報告及び情報提供

- ・潟めぐりスタンプラリーの実施について（文化創造推進課）
- ・十二潟に関する活動について（山崎敬雄相談員）

2 講義

「新川開削と慶応の底樋探查」（加藤功相談員）

新潟市西区榎尾で江戸時代から大正時代に西川と新川を立体交差するために使われていた水路「底樋」の一部が約100年ぶりに出土（7月22日）。新川開削の歴史と底樋の掘削作業についての報告。

「アカミミガメ対策について」（井上信夫協力研究員）

新潟県内で確認された淡水カメ類の概要とミシシippアカミミガメ対策の事例報告。

3 潟の魅力発信強化についての意見交換

「新潟市広報戦略～もっと！伝わる・目立つ・拡がる広報へ～」（広報戦略課）

「伝わる広報とは何か」の視点から新潟市の戦略的広報の基本的な考え方について講義。戦略（広報の目的の設定）と戦術（具体的手段の検討・実施）を区別して考えることが重要である。

意見交換

- ・刷り物を配布するだけで満足するのではなく、相手から反応を受けることが大事
- ・地域の魅力を伝えるには、まず地域の人が地域の魅力を知る
- ・市のホームページでは情報がなかなか更新されないのを改善するべき